キャラクター名
結城湊

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ソラリス	ワークス	■■■A	カヴァー	小学生
オプショナル	ブラックドッグ	年齢	１０	性別	女
覚醒	無知	衝動	恐怖	初期侵食率	32 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	1		0			1
精神	2		0			2
社会	5		0			5

HP	24
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報： 夢	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
霊視	P	N		
「お友達」	P 幸福感	N 恥辱		
家族	P 執着	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 判定のダイスを１つ１０に変更								
戦乙女の導き	2	2	メジャー	至近	単体	RC	-	
効果： 次のメジャーのダイス+Lv＆攻撃力+5								
┗夢の雫	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 判定直後に使用。その判定の達成値+[Ｌｖ×2]。１Ｒ１回								
タブレット	2	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果： ソラリスのエフェクトと同時に使用。射程を視界に変更。１シーンLv回								
┗多重生成	2	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果： タブレットと同時に使用。タブレットの対象を[Lv+1]体にする								
狂戦士	1	5	メジャー	視界	単体	RC	80↑	
効果： 次のメジャーのC値－１（下限6）＆ダイス+［Lv×2］								
力の霊水	2	4	オート	視界	単体	自動	80↑	
効果： ダメージ+（LV）D。１ラウンド１回								
加速装置	2	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果： 行動値+[Lv×4]								
解放の雷	1	4	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果： 次のメジャーのC値－１（下限6）＆攻撃力+［Lv×2］								
仕組まれた幸運	★							
効果：								
地獄耳	★							
効果：								
元気の水	★							
効果：								
隠し味	★							
効果：								

大人しい、といえば聞こえがいいが実質的に陰気で内気、内向的な少女。
他人には見えないものが見え、それを「お友達」と呼びともに遊んでいたため周囲から不気味がられた。
そのため本と「お友達」を友達として幼少期を過ごす
寂しくなかったのは本は広がる世界を自分に教えてくれたし
「お友達」たちと過ごすのは楽しく、彼らは何かと話をしてくれた
なによりもそんな自分でも受け入れてくれた人間の友達がいたことだ
もっとも、それでも実際に外に出るのは怖いし億劫なので友達や「お友達」のお願いがあるからだ
最近、体の一部が大きくなってきてることがコンプレックス

専用Dロイス：霊視
人とは違うものが見える。
幼少期は理解するのが難しく、無邪気に周囲を混乱させてしまう。
しかしすぐに理解した。この視界は、自分にしか見えていないものなのだと。
同じく特異な能力を持った者であってもこの視界……世界は誰も見えていないらしい。
自分にしか見えない友人たちとの付き合い方を学ぶ必要がある。
たとえ人と違うとしても、この世界を失うことは――。
●解説
あなたの瞳は人ならざるものを視ることが出来る"見鬼"、あるいは"常世"の瞳だ。
その視界には、本来人は決して見ることが出来ない存在が容易に映る。
それは他者の常識とは全く違う。
しかし、あなたにとっては昔から馴染んできた世界だった。
決して分かつことのできないその世界は、ときにあなたを助け、ときに誰かの喪った絆すらも視ることで繋ぐことも出来るだろう。